

銀河線に「999」登場 北見―陸別 存廃願いアニメ列車【写真】 2002/11/03 00:30



【北見】存廃問題に直面する北海道ちほく高原鉄道の「ふるさと銀河線」(北見市―十勝管内池田町、百四十キロ)で二日、漫画家松本零士氏のアニメ「銀河鉄道999」のキャラクター列車の臨時運行が始まった。

二両編成で、メーテルが長い髪をたなびかせ、赤いマント姿の鉄郎が笑う図柄が描かれている。午前十一時半、満員の八十人を乗せて北見駅を出発、陸別(十勝管内)までを一往復した。

また、出発に先立ち北見駅で行われたセレモニーでは、松本氏の「おおらかな気持ちになれる銀河線を永久に走り続けさせてほしい」とのメッセージビデオを披露した。

北見市の主婦(64)は、鉄郎が永遠の命を求めて999で旅をするストーリーになぞらえ、六歳と十歳の孫娘に「これに乗ったら夢がかなうよ」と話しかけていた。

臨時運行(予約制)は四日まで。車両は五日以降、通常運行で使う。

＜写真：鉄路存続の願いを乗せた「銀河鉄道999」のキャラクター列車＞

北海道新聞ホームページに掲載されている記事、写真の無断転載・2次利用を禁じます。記事・写真の再利用に関しては「[掲載記事・写真の再利用について](#)」、個人情報保護に関しては「[個人情報の取り扱いについて](#)」、リンクに関するお問い合わせは「[リンクについて](#)」をご覧ください。

お問合せ先、ご意見の受付先については「[新着・各種情報](#)」のページの最下段をご覧ください。

Copyright(c)1996-2002 The Hokkaido Shimbun Press.